

進化生態情報学

佐倉統 (*sakura@iii.u-tokyo.ac.jp*)

この講義のねらい 「学環」とは??

- ・さまざまな学問を領域横断するための手法、理念、展望などを語る。
- ・文理融合とは何か? なぜそんなものが必要なのか? どうすればいいのか?
- ・そもそも学問とは何か? 知とは何か? 知は社会のどこにあるのか? 知と社会の関係は?

キーワード: 進化、複雑系、ミーム、知識流通

方法論

- ・進化生物学の理論を生物以外のシステムに適用することで、記述、分析する。
ex.: 科学技術の進化、経済の進化、企業の進化.....
- ・そのためにはどのような準備作業が必要か?
- ・この方法でどのようなメリットが得られるか?

理論編

(1) 進化理論の基礎

- ・進化生物学の基礎理論
- ・情報学と進化学の融合
- ・文化動態への応用 (ミームなど); 非生命体の進化理論
- ・情報システムの環境適応: 生命も文化も同じ

進化を情報の流れととらえることで、生物以外のシステムにも進化理論を適用できるようになる

(2) 人類進化論 ~ 生物としてのヒトから文化としての人間へ

- ・人類の進化過程
- ・人類の進化要因
- ・進化心理学

人間を生物としてとらえることで、人類学、哲学、歴史学、社会学、経済学などとの接点が見えてくる。

実践編

さまざまな分野で領域越境している人たちに話をうかがう。現在、瀬名秀明（小説家）、前田邦宏（ウェブサイト「関心空間」主催）らが出講の予定。

観察編

上野動物園と日本科学未来館で出張授業を予定。上野動物園では、実際の動物を前にして進化を学ぶというコンセプトだが、昨年度はゴリラの飼育係の話があまりにおもしろく、それを聞くのに終始してしまった……。今年はもう少しいろいろやりましょう。科学未来館の方は、内容検討中。

オンライン授業

今学期はこの授業が iiii-online で配信される。教室とウェブとの往復運動を心がける。具体的には、授業中に討論を開始し、続きは BBS で発展させ、まとめを教室でおこなうなど。

成績評価の基準

学期末のレポートと教室やウェブ上での討論や作業への参加の程度による。

参考文献（ほとんど教科書待遇なので、買って！）

佐倉統『進化論という考えかた』講談社現代新書，2002

著者割引あり。希望者は直接佐倉まで。

佐倉統（編）『佐倉統が読む進化論のエッセンス』トランスアート，2003

こちらはオンデマンド出版なので、残念ながら著者割引はありません。トランスアートの HP (<http://www.transart.co.jp/>) から購入してください。

参考ウェブサイト

The Third Culture by John Brockman http://www.edge.org/3rd_culture/index.html

文科系でも理科系でもない（あるいはその両方である）「第三の文化」をめざすアメリカの編集者、John Brockman が運営する *Edge* のサイト。世界の一流の科学者との交流を通じて、新たな知を編み出していく試み。日本の知識界はここにどう絡んでいくのか？

その他、文献や考えかたなどは HP (<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/sakuralab/main.htm>) も参照してください。